

技術士 第二次試験 模擬答案用紙

受験番号	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □	技術部門 部門
問題番号	R01 III-3	選択科目 科目
答案使用枚数	1 枚目 枚中	専門とする事項

○受験番号、答案使用枚数、選択科目及び専門とする事項の欄は必ず記入すること。

1	.	海	外	イ	ン	フ	ラ	整	備	に	お	け	る	課	題	□	□	□	□	□	□	□	□	
1)	異	な	る	商	習	慣	や	契	約	手	法	へ	の	対	応	□	□	□	□	□	□	□	□	□
	国	内	イ	ン	フ	ラ	整	備	は	大	規	模	プ	ロ	ジ	ェ	ク	ト	に	よ	る	新	設	□
か	ら	、	既	存	施	設	の	維	持	更	新	へ	の	転	換	期	に	あ	り	、	か	つ	て	□
の	よ	う	に	巨	大	プ	ロ	ジ	ェ	ク	ト	が	次	々	に	計	画	さ	れ	る	状	況	で	□
は	な	い	。	高	度	な	建	設	技	術	を	開	発	継	承	す	る	場	の	確	保	が	必	□
要	で	あ	る	と	共	に	、	大	き	な	伸	び	が	見	込	ま	れ	る	海	外	イ	ン	フ	□
ラ	市	場	へ	の	参	入	は	、	国	内	の	パ	イ	を	奪	い	合	う	状	況	を	回	避	□
す	る	上	で	も	重	要	で	あ	る	。	し	か	し	我	が	国	の	商	習	慣	や	契	約	□
手	法	は	国	際	的	に	見	る	と	ロ	ー	カ	ル	ル	ー	ル	に	過	ぎ	ず	、	国	際	□
契	約	約	款	や	国	際	的	な	商	習	慣	、	P	F	I	や	D	B	へ	の	対	応	が	必
要	で	あ	る	。	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
2)	異	文	化	の	理	解	と	各	種	リ	ス	ク	の	低	減	□	□	□	□	□	□	□	□	□
	海	外	市	場	へ	の	進	出	に	お	い	て	は	、	対	象	と	す	る	国	の	言	□	□
語	・	文	化	・	宗	教	へ	の	理	解	が	必	須	で	あ	る	。	円	滑	な	コ	ミ	ュ	□
ニ	ケ	ー	シ	ョ	ン	を	図	り	、	業	務	を	ス	ム	ー	ズ	に	進	め	る	た	め	に	□
は	、	我	流	の	押	し	つ	け	で	は	な	く	相	手	を	知	る	努	力	が	必	要	で	□
あ	る	。	ま	た	対	象	国	に	よ	っ	て	は	政	情	不	安	や	イ	ン	フ	レ	、	物	□
流	停	滞	、	病	気	、	異	常	気	象	な	ど	様	々	な	リ	ス	ク	が	存	在	す	る	□
た	め	、	リ	ス	ク	の	洗	い	出	し	と	リ	ス	ク	低	減	策	や	リ	ス	ク	移	転	□
策	を	講	じ	る	必	要	が	あ	る	。	対	象	国	法	令	規	則	の	十	分	な	理	解	□
も	必	要	で	あ	る	。	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
3)	熟	練	を	必	要	と	し	な	い	工	法	の	開	発	と	採	用	□	□	□	□	□	□	□
	海	外	で	は	転	職	が	日	常	的	に	行	わ	れ	て	お	り	、	転	職	し	な	い	□
こ	と	が	逆	に	リ	ス	ク	と	捉	え	ら	れ	る	こ	と	が	多	い	。	人	材	の	流	□

●裏面は使用しないで下さい。 ●裏面に記載された解答は無効とします。

24 字×25 字

技術士 第二次試験 模擬答案用紙

受験番号		技術部門	部門
問題番号	R01 III-3	選択科目	科目
答案使用枚数	2 枚目 枚中	専門とする事項	

○受験番号、答案使用枚数、選択科目及び専門とする事項の欄は必ず記入すること。

動	が	激	し	い	海	外	市	場	に	お	い	て	、	技	術	技	能	の	修	得	に	時	間		
を	か	け	過	ぎ	る	こ	と	は	非	効	率	で	無	駄	な	投	資	に	な	り	か	ね	な		
い	。	熟	練	を	あ	ま	り	必	要	と	し	な	い	イ	ン	フ	ラ	整	備	手	法	(工		
法)	の	開	発	と	採	用	が	必	要	で	あ	る	。											
2	.	最	も	重	要	と	考	え	る	課	題	と	解	決	策										
		上	述	3)	の	「	熟	練	を	必	要	と	し	な	い	工	法	の	開	発	採	用	」	
を	最	も	重	要	な	課	題	と	考	え	、	解	決	策	を	挙	げ	る	。						
1)	P	c	a	技	術	の	推	進	と	全	体	最	適	化	の	推	進							
		コ	ン	ク	リ	ー	ト	構	造	物	の	構	築	に	お	い	て	、	練	度	と	経	験	が	
必	要	と	な	る	型	枠	工	・	鉄	筋	工	・	コ	ン	ク	リ	ー	ト	打	設	工	を	行		
わ	な	く	て	良	い	P	c	a	技	術	に	よ	る	構	造	物	構	築	を	推	進	す	る	。	
P	c	a	構	造	物	の	構	築	に	お	い	て	も	、	部	分	最	適	で	は	な	く	全	体	
最	適	を	意	識	し	、	部	材	の	汎	用	化	に	よ	る	コ	ス	ト	縮	減	と	ス	ケ		
一	ル	メ	リ	ッ	ト	化	を	図	る	。															
2)	ユ	ニ	ッ	ト	化	の	推	進																
		P	c	a	化	が	困	難	な	構	造	物	に	つ	い	て	は	、	機	械	化	と	省	力	化
を	図	る	た	め	、	埋	設	型	枠	や	ユ	ニ	ッ	ト	鉄	筋	を	積	極	的	に	採	用		
す	る	。	埋	設	型	枠	は	省	力	化	だ	け	で	な	く	コ	ン	ク	リ	ー	ト	表	面		
保	護	や	表	面	品	質	の	向	上	に	も	有	効	で	あ	る	。								
3)	高	流	動	コ	ン	ク	リ	ー	ト	や	機	械	式	継	手	の	使	用						
		P	c	a	化	や	ユ	ニ	ッ	ト	化	が	困	難	な	構	造	物	の	構	築	に	お	い	て
は	、	鉄	筋	の	重	ね	継	手	が	必	要	な	い	機	械	式	継	手	を	採	用	し	て		
省	力	化	と	継	手	構	造	の	単	純	化	を	推	進	す	る	。	コ	ン	ク	リ	ー	ト		
打	設	に	お	い	て	も	、	熟	練	し	た	打	設	技	術	や	締	固	め	技	術	を	必		
要	と	し	な	い	工	法	を	採	用	す	る	。													

●裏面は使用しないで下さい。 ●裏面に記載された解答は無効とします。

技術士 第二次試験 模擬答案用紙

受験番号		技術部門	部門
問題番号	R01 III-3	選択科目	科目
答案使用枚数	3 枚目 枚中	専門とする事項	

○受験番号、答案使用枚数、選択科目及び専門とする事項の欄は必ず記入すること。

3	.	解	決	策	に	共	通	し	て	新	た	に	生	じ	る	リ	ス	ク	と	対	策			
1)	製	品	の	製	造	、	組	立	、	接	合	な	ど	に	新	た	な	技	術	が	必	要		
	P	c	a	製	品	等	を	現	地	で	製	造	す	る	必	要	が	あ	る	た	め	、	工	場
	生	産	技	術	や	現	場	で	の	組	立	据	付	、	部	材	接	合	な	ど	、	現	場	打
	ち	構	造	物	と	は	異	な	る	技	術	技	能	の	習	得	が	必	要	に	な	る	。	
1)	へ	の	対	策																				
	V	R	、	A	R	、	M	R	、	B	I	M	/	C	I	M	や	タ	ブ	レ	ッ	ト	端	末
	ル	な	ど	の	I	C	T	技	術	を	活	用	し	、	作	業	前	や	作	業	中	に	作	業
	メ	ー	ジ	や	手	順	、	仕	上	が	り	形	状	を	把	握	す	る	こ	と	で	、	視	覚
	的	か	つ	効	果	的	に	技	術	技	能	の	習	得	が	可	能	に	な	る	。			
2)	製	品	の	製	造	技	術	や	部	材	接	合	技	術	な	ど	の	漏	洩					
	工	場	で	の	P	c	a	製	品	類	の	製	造	技	術	や	、	現	場	で	の	接	合	
	術	が	人	材	の	流	動	と	同	時	に	外	部	へ	流	出	し	、	競	合	他	社	へ	
	技	術	漏	洩	に	つ	な	が	り	自	社	が	競	争	力	を	失	う	恐	れ	が	あ	る	
	。																							
2)	へ	の	対	策																				
	雇	用	契	約	約	款	や	就	労	規	約	に	技	術	ノ	ウ	ハ	ウ	を	流	出	さ	せ	
	な	い	こ	と	や	、	行	っ	た	場	合	の	罰	則	(厳	罰)	を	明	示	す	る	
	と	で	、	技	術	の	流	出	を	防	ぐ	。	ま	た	電	子	デ	ー	タ	類	の	持	ち	
	し	を	防	ぐ	た	め	に	、	サ	ー	バ	ー	ア	ク	セ	ス	権	の	設	定	や	、	外	
	通	信	・	ア	ク	セ	ス	ロ	グ	の	確	認	、	デ	ジ	タ	ル	デ	バ	イ	ス	類	の	
	ち	込	み	制	限	な	ど	の	セ	キ	ュ	リ	テ	イ	対	策	も	実	施	す	る	。		
																							以	
																							上	

●裏面は使用しないで下さい。 ●裏面に記載された解答は無効とします。

24 字×25 字